

消費者コーナー

ネット上のフリマサービス トラブルが急増中

スマートフォンなどにフリーマーケット専用アプリをインストールしている人も多いのではないのでしょうか。

インターネットを介して、個人間で商品の売り買いが手軽にできるフリーマーケットサービス(以下フリマサービス)が、消費者の間で急速に広がっています。そして利用者の増加にあわせて、全国の消費生活センターへフリマサービスに関する相談が急増しています。

相談内容

購入者からの「商品が届かない」「壊れた商品が届いた」「偽物が届いた」などの相談だけではなく、「商品を送ったのに届かないと言われる」「送ったブランドバッグが偽物だと言われ、代金を支払ってもらえない」など、商品を販売した出品者からの相談も寄せられています。

アドバイス

フリマサービスは個人間の取引であり、出品者は事業者ではありません。トラブルが起こった際、フリマサービス運営業者に介入を求めても、「利用者間の契約や解約などの取引には一

切関与しない」などと、利用規約で定められている場合がほとんどです。

トラブルの解決を当事者同士で行うことが求められている点を理解しなくてはいけません。購入する場合も出品する場合も、事前に利用上の注意事項や取引上のマナーを十分確認して利用しましょう。

トラブルになってしまい、当事者同士での話し合いで解決ができない場合は、フリマサービス運営業者に調査などの協力が得られないか確認してみましょう。それでも解決しない場合は、問題点の整理を行うため、消費生活センターへご相談ください。



消費生活センター

毎週月～金曜日(年末年始、祝日を除く)

午前9時30分～午後4時

(正午～午後1時は昼休み)

※予約申し込み不要・無料

※電話での相談も受け付けています

(☎内線348まで) 場所 市役所2階消費生活相談室

弁護士による多重債務
無料法律相談

毎月第3木曜日

(祝日の場合翌週第4木曜日)

午後1時～4時(一人30分程度)

※予約申し込みが必要です

(問い合わせ・相談予約申し込み)

産業振興課 商工・農政係

(☎内線440)

地球にやさしいエコライフ 160

ワンヘルス(One Health)

～動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。～

ワンヘルス(One Health)とは

人と動物の間で広がる「人と動物の共通感染症」や、抗菌薬が効かなくなる薬剤耐性(AMR)などのさまざまな問題に対して、人・動物・環境はつながっており「ひとつの健康」としてそれぞれの分野に関わる人が連携して問題解決に取り組む考え方を言います。平成28年には北九州市で、世界の医師・獣医師らが参加する国際会議が開催され、「福岡宣言」が採択されました。



人と動物の共通感染症

狂犬病、エボラ出血熱、鳥インフルエンザ、デング熱など世界で800種類以上あると言われています。



福岡県でも発生している！？

屋外で猫にえさを与えていた女性が「コリネバクテリウム・ウルセランス」という細菌に感染した事例があり、猫から感染したものとみられています。

こんなことに注意しましょう！

- 動物にさわったら、必ず手洗いをする
- 口移しやスプーン・箸の共用など、過剰な触れ合いは控える
- ペットの身の回りは清潔に
- 砂場や公園で遊んだら、必ず手洗いをする
- 体に不調を感じたら、早めに医療機関を受診する



参考：福岡県庁生活衛生課ホームページ / 動物由来感染症ハンドブック2018(厚生労働省)
問い合わせ：環境課 環境保全係(☎内線308)